

# 令和4年度ヨーロッパザラボヤ付着情報(第3報)

令和4年6月30日

発行:岩手県水産技術センター

協力機関:沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター  
三陸やまだ漁業協同組合

付着数が増加してきましたが、直近3年間で最も少ないです。

## <調査方法>

- ・山田湾内の定点において調査。
- ・ホタテガイ貝殻製の付着器を5m、10m、15m水深に3枚ずつ垂下し、約1ヵ月間に付着したヨーロッパザラボヤ(1mm以上)を計数。
- ・平均付着数:9枚(3水深×3枚)の付着器1枚あたりの平均値。

## <調査結果>

付着器投入日:令和4年5月24日  
付着器回収日:令和4年6月24日

- ・6/24の水深5・10・15m層の平均水温は13.5℃、透明度は6mでした。
- ・付着器1枚あたりのヨーロッパザラボヤの平均付着数は26個でした。
- \* 付着器1枚あたりのユウレイボヤの付着数は2個でした。

月	平均付着数/枚		
	R2	R3	R4
1	6	2	0
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0	0	0
5	2	9	2
6	434	33	26
7	115	18	
8	15	0	
9	3	18	
10	11	6	
11	7	5	
12	2	2	

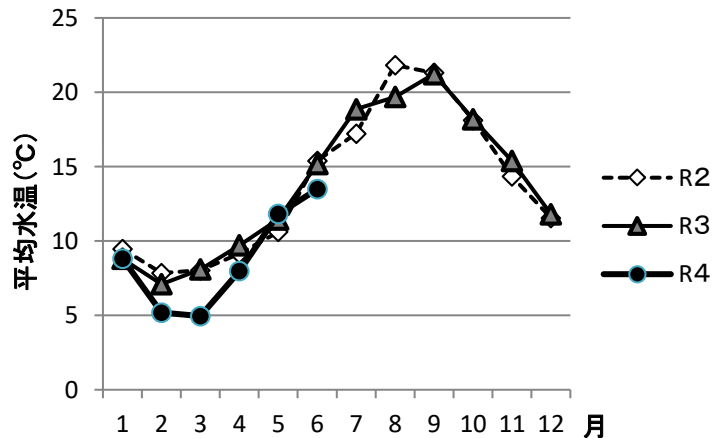


図1 山田湾定点における平均水温(5・10・15m)の推移

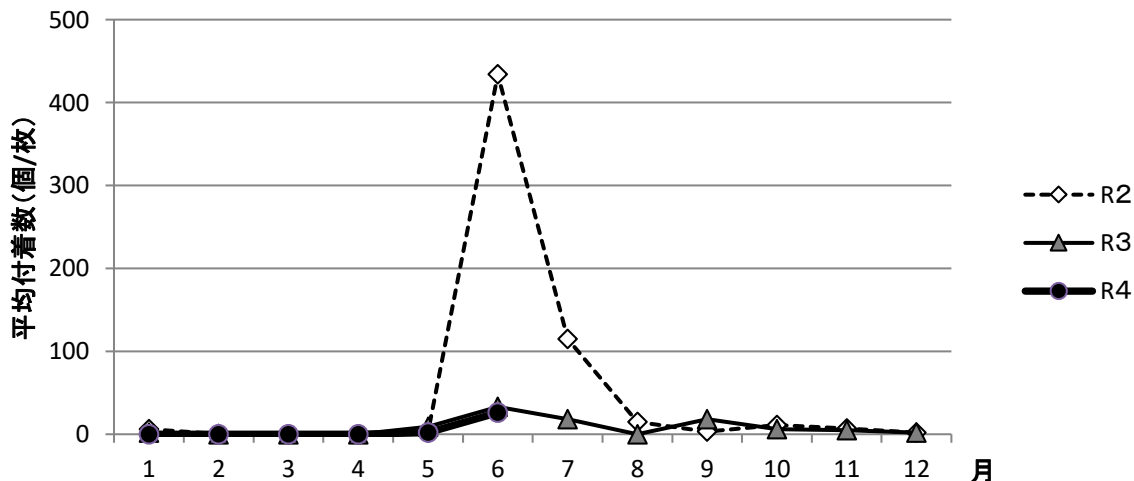


図2 山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着数の推移

次報は、令和4年7月末頃に発行する予定です。